

逗子の景観まちづくり

瓦版 第四十六号

平成二十七年十月一日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

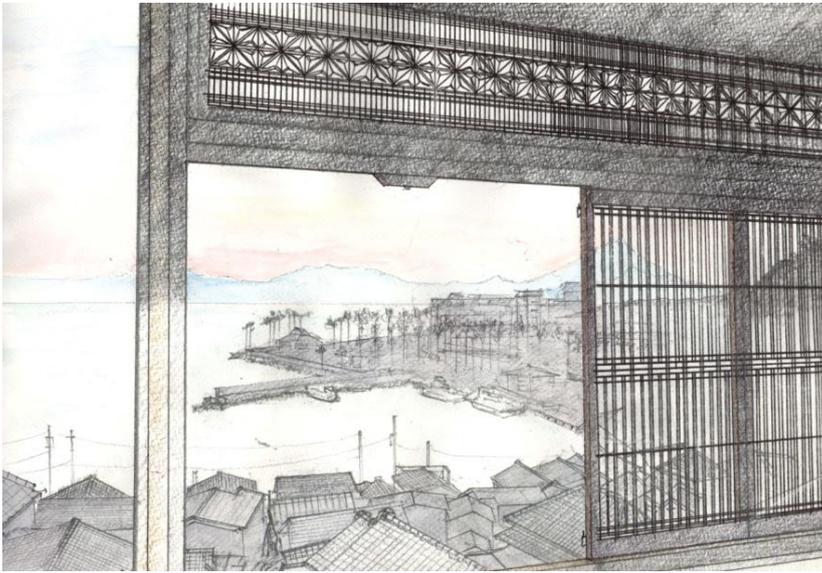
電話 〇四六・八七三・一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「浪子不動の磯遊び」

披露山の切り立った崩れやすい崖、そこから大きな岩場が連なり海へ乗り出す。大潮の干潮時になると岩場の先に平たい豊かな磯が広がっていた。当時の浪子不動の姿である。



「小坪漁港夕景—南町テラスから」 絵 日高 仁

小学生だった私は、腰に手拭をぶら下げ、毎日のようにその磯へ遊びに出掛けた。緑褐色のアサヒアナハゼの稚魚や海藻の中に隠れるカズナギという魚を手拭一枚で数多くすくいあげた。また、夏の夕暮れともなれば、岩場の表面は、真赤な銹を持つアカテガニなどのカニの群が蠢いていた。崖下には岩肌を削った細い道が祠へと続き、その頃の花火大会はそこから打上げられた。岩場と磯の一部は東京オリンピックに合わせて埋め立てられ、国道一三四号線ができるまで多くの車が走るようになった。磯の表面は波で浸食されているが、当時の工事の傷跡が今でもかすかに残っている。

今も春先から夏にかけて、この磯で遊びに興じる一人でもある。しかし、残念ながら子ども頃に出会っていた生きものたちの住む磯ではなくなっている。その代り、以前は見かけることがなかった紫褐色のヒバリガイという二枚貝が岩の表面を被い始め、潮だまりには、砂の堆積が目立ち、本来は砂地を住居とするコブヨコバサミというヤドカリに出会うことがある。清らかな潮風、四季折々に素晴らしい光景を緑り広げてくれる逗子の海岸。市民にとっては



癒しの場の一つでもある。しかし、浪子不動の磯、その海中の景観とそこを生活の場とする生きものたちが、徐々に変わりつつあることを見逃すわけにはいかない昨今である。

いそがい たかひろ

「磯探検」 絵 高校1年生 伊勢 巧

逗子の景観を考える vol.15

景観条例ってどんなもの？

逗子市では景観条例があるみたいだけど、実際どういうものなの？と思われる方も多いと思います。今回は、そんな景観条例のお話をします。

景観条例で対象になるのは、300㎡以上の開発行為や10m以上の建築行為など、まちなみにより影響をもたらす行為が対象となっています。

手続きの内容は、開発もしくは建築の計画内容が分かる図面が提出され、専門委員によって構成される景観審査委員会に諮り、近隣への説明を経て、最終的な計画案が提出される流れになっています。景観の審査事項は、外壁の色彩や意匠、植栽、設備機器の目隠しなどと多岐にわたり、今あるまちなみや背景の自然とは調和しているか、通行人も目を引くような効果的な植栽はどうしたらいいか検討されています。まちなみが急激に変わるということはありませんが、今の逗子の景観を守りつつ、そして、少しでも良くしていくためにも、一軒一軒について真剣に考えていくことが景観条例の役割だと考えています。

景観条例の適用になった事業

敷地の中心部に
シンボルツリー



交差点で目にとまる
木製の外壁材に、憩い
のベンチ



周囲のまちなみに配慮
して、物干し竿や室外
機は見えない位置に



大通り沿いは生垣に
して緑を厚く。既存樹
木もできるだけ保全



バケツを持って、
お宝探し。エビ、
ヤドカリ、珍しい
ウミウシが見つかる
時も！



私の逗子の遊び方
~逗子の特権。磯遊び~

初夏になると、子どもだけでなく大人も張り切って潮干狩りに。水深がないので幼い子どもも安心して遊べます。

キレイな貝を見つけた！と思ったら、先住民のヤドカリがいて、身を引くことも…。

海水浴シーズン前の心地いい季節が人気



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

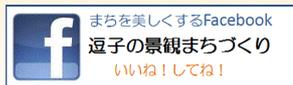
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する
逗子の景観コラム、
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観まちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。